

## 春野町

### 地形概況

気田川とその支流石切川・杉川・熊切川などの流域山地からなる。稜線や山腹に緩斜面や平坦面が発達し、和泉平・砂川をはじめとして地すべり地が多い。河川は曲流と峡谷をもつが、気田・熊切・犬居などには谷底低地や段丘も形成されている。

### 地質概況

北部は寸又川層群の砂岩を主とする泥岩との互層、中部は犬居層群の砂岩と泥岩の互層、南部は砂岩と泥岩との乱雑層の三倉層群からなり、北東-南西方向の構造をもっている。光明断層以西には光明層群の砂岩が分布し南北方向の構造をもつ。

### 気象概況

年平均気温は推定 14.2℃と県内でも低く、夏と冬の温度差や日中と夜間の温度差が大きい。日照時間も山地地形の影響により約 2,000 時間と短い。年平均降水量は 3,019mm(川上)と県内でも多く、4月から8月にかけて全降水量の約半分に達する。

### 災害事例 地震

- 1944年12月7日(昭和19年)東南海地震 M=7.9  
県中・西部で被害が大きかったが、当地では被害は特になかった。震動のため立っていることができず、瓦がずれたり、水車がこわれた所があった。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4  
全県下で被害が大きかった。領家での震度は7と推定されている。

### 災害事例 台風

- 1958年8月25日(昭和33年)台風17号  
県の中・西部で被害があった。春野町気田で326mmの日雨量を観測した。
- 1944年8月7日(昭和19年)  
6日夜半から風雨強く、気田の雨量330mmであった。
- 1911年8月4日(明治44年)  
春野町気田の日雨量3日212mm、4日583mmに達した。太田川流域で被害多大であった。
- 1904年7月10日(明治37年)  
8日~10日降りつづき、天竜・大井・安倍諸川流域で500~700mmの豪雨であった。

### 災害事例 豪雨

- 1962年7月2日(昭和37年)  
気田で日雨量309mmに達し、田畑冠水、道路・橋に被害を生じた。
- 1961年6月27日(昭和36年)  
気田で日雨量310mmを観測した。

### 災害事例 旱魃

- 1965 (昭和 40 年)  
県下一帯早魃となった。全般に降水量は平年の 2 分の 1 で、気田の 8 月の雨日数は 3 日で、平均より 12.2 日も少なかった。